

「戦争法の理解 一般人は至難」

高村氏が発言

高村正彦自民党副総
裁は4日放送のTBS
番組「時事放談」に出
演し、国民の「反対」

の声が続く「戦争法」
について「一般の方が
理解するのは至難のわ
ざ」と開き直りまし
た。

「戦争法」に反対す
るデモをはじめとした
国民の動きを高村氏
は、「『戦争法案』や『徴
兵制』など根も葉もな

い言葉で善良な国民を
不安に陥れた」と敵
視。「大変賢い日本人
は冷静に考えればわか
る。日米安保、自衛隊

創設、PKO法などの
審議にはそれなりの
(反対)運動が起ころ
うが、結局わかっていた
だけの歴史をたどって

きた。法律家同士がや
っても難しいことを一
般の方が理解するのは
至難のわざ」と述べま
した。

高村氏と対談した藤
井裕久元財務大臣は、
「戦争法」の違憲性に
ふれ、強行採決を「ま
さに暴挙」と断じ、

「(安保法制は)最後
まで国民の6割が反対
したことが歴然と残っ
ている。内閣支持率が
微減にとどまるのは、
中国がけしからんとい
う脅威論と、経済政策
にまだ期待するところ
にあるだろう」と指摘
しました。